

ごあいさつ

代表世話役 西本 孝

今年の春は、例年になくソメイヨシノが早く開花しました。その原因は、3月の中旬以降の急激な温度上昇にありましたが、その後は、寒気の影響で寒い日が続くこともあり、一気に暖かくなりませんでした。そのため、新緑の季節を迎えて葉を出した樹木は、葉の色が黄緑色の期間が長く続くことになりました。この頃の植物の葉は、細胞が最も弱いために、紫外線やオゾンの影響を受けやすくなっています。秋になったとき、葉がいつもとは違った様子を見せるかも知れないと心配しています。

さて、4月30日には新庄村森林セラピー協議会との共催で第7回自然観察会を開催しました。14名の会員の方が参加し、一般の方や新庄村の協議会の方とともに28名で、新緑の毛無山で、早春の自然を楽しみました。今後、定例の年次総会を6月16日(土)に半田山植物園で、中国地方5県の交流会を10月に予定しております。これからも会員の皆様と一緒に、自然観察を通じて自然の不思議さを実感しながら充実した楽しい時間を持ちたいと思っております。皆さまの参加をお待ちしております。

年次総会と第8回自然観察会の予定 参加希望者は橋本さんまで

西本

- 開催日：2018年6月16日(土)
(雨天決行)
- 定例の年次総会 前年度の活動を報告した後、今後の活動予定を相談して、計画を決めます。参加者は橋本さんまで連絡してください。
アドレス michikusa@mist.ocn.ne.jp (橋本)
- 集合 午前10時 半田山植物園
- 日程 午前：総会と半田山植物園の概要
午後：園内散策(14時解散)
- 持ち物 昼食、飲み物、筆記用具、雨具
- 見所 植物園内で、季節に応じた花や温室内での植物を中心に観察します。
- 駐車料金がかかります。

中国地方5県交流会のご案内 皆さん予定しておいてください。

西本

- 開催日：2018年10月27日(土)、28日(日) (雨天決行)
- 集合：11時 真庭市蒜山振興局駐車場
(昼食は持参してください)
- 宿泊：津黒高原荘(0867-67-2221)
- 会費 12,000円(予定)
- 日程(詳細は総会後にお知らせします)
1日目は真庭市の蒜山高原で自然観察と講演会
2日目は新庄村毛無山で自然観察会

会費納入のお願い

西本

当会は、会費が年度制となっています。未納の年度を明記して、会費を納入してください。総会時に支払っていただくか、欠席される方は、下記の郵便局で口座振り込みにより会費や寄付を納入してください。活動資金として活用させていただきます。

- ゆうちょ銀行 記号15440 番号38433761 NOI岡山 (手数料は各自でお願いします)
- 他金融機関からの振り込み 店名五四八 店番548 普通預金 3843376

4月30日「新庄村森林セラピー協議会」と「NOI岡山」の共催で自然観察会が行われました。フィールドは早春の新庄村、毛無山(写真1)。最高のお天気の中、田浪キャンプ場に集合し毛無山へ(写真2)。

私はというと新庄村に引っ越して来てなかなかこのような観察会に参加できる機会が少なくなっていたので、この日をとても楽しみにしていました。

ご無沙汰している先輩方にもお会いできる日でもありワクワクドキドキ。講師の先生は、植物は西本先生、動物は山田勝さん、鳥は宮林さんととても豪華でした。

登山道を歩きながら西本先生が足を止め植物の解説を始めると、参加者の皆さんはとても熱心に耳を傾けていました(写真3)。実際にその植物を見ながら解説を聞けることなど滅多にない上に、疑問があると質問できその場で納得。一人で図鑑とにらめっこする時間も必要ですが、やはり専門家にリアルタイムで教えていただけるのは嬉しいです。名前だけでなく、どうしてこの植物がここに生えているかなどの経過や種の落とし方、生息条件などのお話も興味深かったです。

例えば今回印象に残ったのは「ハウチワカエデ」と「トキワイカリソウ」。ハウチワカエデには花の集団の中に、果実ができあがりつつある花がありました(写真4)。また、トキワイカリソウは、去年まではあまり見られなかったけれど、人工林(登山道を入れてすぐの左側)を間伐したことで日が差し込み、今年はたくさん花が見られました(写真5)。



写真1. 新緑が山麓から山頂に向かって進む毛無山の森林。濃い緑色は常緑針葉樹のスギ。山麓ではヤマザクラが満開となっていた。



写真2. 田浪のキャンプ場に集合した参加者。

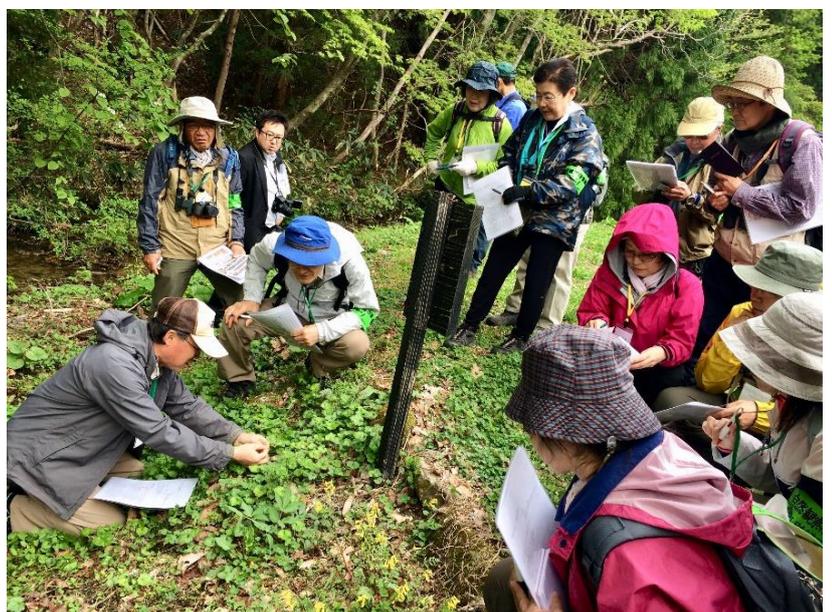


写真3. 西本先生の解説を真剣に聞く参加者。

環境が変わればその環境に合った植物が繁栄していく様がよく分かり頭にスッと入りました。この森では、春には1番たくさんの花に出会えるそうですが、この日は本当にたくさんの花に出会えた1日でした。

植物と動物を関連付けて観察できたこともこの観察会の特徴だったと思います。山田勝さんが杉の樹皮がケバケバしたフィールドサインを見つけた時、(これはムササビかニホンモモンガかニホンリスの仕業)まわりを見渡すと樹皮がケバケバした木としていない木とあり、フィールドサインの主はヒノキ(檜)ではなくスギ(杉)の木が好きだと説明してくださいました(写真6)。その理由は杉の樹皮の方が柔らかく巣材などに使いやすいから。実際に樹皮を触ってみると杉と檜ではずいぶん触り心地が違い驚きました。こんな風に話だけではなく、実際に感覚を使って覚えると頭に入りやすかったです。

細流からはタゴガエルの声、林内に響き渡るミソサザイの賑やかな声も聞こえ、目では新緑や花を楽しみ、ツルシキミのミカンの香り、沢からの心地よい風を感じ、身体全体で春の毛無山を楽しみました(写真7)。

新庄村という最高のフィールドに住んでいながら、岡山市民の時ほど思う存分フィールドに出られていないというせつない現実のなか、今回の観察会は改めて新庄村の自然の魅力を再発見でき、私はやっぱり自然や生き物が大好きなんだなぁと再認識できた観察会でした。企画運営してくださった皆様に感謝しつつ、これからもどっぴりと自然・生きもの大好きで生きていけたらいいなと思います。

この日観察した鳥(宮林)

キジバト、キセキレイ、アカゲラ(橋本氏確認)、ツバメ、ヒヨドリ、ミソサザイ、ウグイス、センダイムシクイ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、カケス(橋本氏確認)、センダイムシクイ。

参加者 西本孝・山田勝・宮林英子(以上、講師)、臼井(山本)幸・勝部晴美・勝部弘和・谷合繁造・長瀬みえ・永富壽・橋本智明・福元隆三・藤本亘・山内哲夫・山根一郎(14名)



写真4. ハウチワカエテ.



写真5. トキワイカリソウ.



写真6. 山田先生からニホンモモンガの生物痕跡の話聞く。



写真7. 新緑の林内での参加者と記念撮影.



写真8. 昼食は、さくら茶屋で山菜たっぷりの地元食材を使った食事を堪能した。